

ペースメーカー不快感に奔豚湯

Q 七十歳、女性。不整脈を指摘され、三年前に永久型ペースメーカーの埋め込み手術を受けました。現在脈拍も血圧も落ち着いているのですが、胸やおなかの中を何かが動いているような不快感や肩こり、胸の締め付けられる感じがとれません。不快感を和らげる漢方薬はありますか。

A 重篤な不整脈は直ちに命にかかわるから、ペースメーカーに頼らざるを得ない。一方で、ペースメーカーで心臓の調律は回復しても、さまざまな不定愁訴で悩んでいる方は意外に多い。肩こり、胸部や背部の不快感や痛み、腹部の膨満感や腹痛、便通異常、不眠などさまざまな不快感を訴える。

このような不定愁訴にも漢方治療は試みる価値がある。質問者は手紙の中で、「へその下から何かがドドツと胸に突き上げてくる感じ」「おなかでガスでモクモクと動きのどもとまで突き上げてくる感じ」と述べている。

漢方医学には、西洋医学にはないいくつかの病態があるが、質問者のこの状態は、奔豚気（ほんとき）病といわれるものである。下腹部から不快のどもとへ突き上がっていく感じが、まるで豚が走り回るようだというのである。エキス剤にはないが奔豚湯や苓桂甘棗湯（りょうけいかんそうとう）などが勧められる。エキス剤にあるものなら、加味逍遙散（かみしょうようさん）、大建中湯（だいけんちゅうとう）、当帰湯（とうきとう）などもよい。